

## 学会発表

(\*は財団研究員；\*\*は客員研究員)

## 第84回日本公衆衛生学会総会(2025/10/29-31:静岡)

①安順姫\*, 佐々木晶世\*, 石橋智昭\*「仕事と介護の両立に関する調査【第1報】:介護の前段階における親への生活支援の実態」

【発表要旨】要介護状態にない親を持つ従業員の約半数が親への生活支援を行い、その3分の1が負担感を感じていた。突発的な対応だけでなく、日常的な生活支援も負担感と関連していたことから、介護の前段階から柔軟な勤務体制や休暇制度の整備を検討すべきだろう。

②佐々木晶世\*, 安順姫\*, 石橋智昭\*「仕事と介護の両立に関する調査【第2報】:介護経験者からみた両立を促進・阻害する職場環境要因」

【発表要旨】会社の介護支援制度が整備されたことや周囲の支えにより、仕事と介護の両立が可能になった一方で、職務内容により両立が難しいこと、支援制度とのミスマッチや周囲の理解のなさを経験している従業員も存在した。

③土屋瑠見子\*, 上野恵子, 寺本千恵「在宅高齢者における救急要請事案の発生場所と救急隊の現場滞在時間との関連」

【発表要旨】東広島市消防局救急出動要請台帳を分析し、事案発生場所と現場滞在時間の関連を検討した。上層階、トイレ・浴室・台所では滞在時間が延長しており、救急医療負荷軽減策としての住環境ガイドライン整備の可能性について考察した。

④石橋智昭\*, 上原桃美\*, 渡辺修一郎\*\*, 森下久美\*\*, 土屋瑠見子\*「75～84歳のシルバー人材センター会員の健康度と働き方①～フレイル水準別の就業状況および疲労感との関連～」

【発表要旨】全国の75～84歳1,500人の会員調査に基づき、フレイル状態の会員でも健常と同様に就業している実態を明らかにした。また、フレイル該当者には疲労感の少ないグループ就業の活用を提言した。

⑤上原桃美\*, 石橋智昭\*, 渡辺修一郎\*\*, 森下久美\*\*, 土屋瑠見子\*「75～84歳のシルバー人材センター会員の健康度と働き方②～就業状況が新規フレイル発生に及ぼす影響～」

【発表要旨】全国シルバー人材センター事業協会の調査データ(2022年・2024年)を分析し、就業後の疲労感

がフレイル発生を予測する要因として有意であると確認した。仕事の疲労感をチェックし、適宜、業務内容を見直すことがフレイル予防につながるだろう。

⑥石橋智昭\*.シンポジウム「高齢期就労の可能性を考える」にて、「シルバー人材センターの健康政策面への貢献」を報告

⑦渡辺修一郎\*\*, 石橋智昭\*, 上原桃美\*, 塚本成美\*\*, 松田文子\*\*, 森下久美\*\*, 土屋瑠見子\*「シルバー人材センターへの入会理由と主観的幸福度との関連」

## 第58回日本薬剤師会学術大会(2025/10/12-13:京都)

田口怜奈, 岡田啓, 土屋瑠見子\*, 北村智美, 石川智基, 杉本友里, 堀田亜莉沙, 浜田将太「要支援・要介護高齢者に対する保険薬局薬剤師の在宅訪問継続実態とその中断に関連する要因:医療・介護連結データ分析」

## 第20回日本応用老年学会大会(2025/11/8-9:宮城)

①上原桃美\*, 中村正人「特別養護老人ホームにおける外国人職員の災害時の施設参集を妨げる理由」

【発表要旨】都内特養の外国人職員を対象に、発災時の施設参集の阻害要因を分析した。自宅が施設から遠いことや家族の安全確保が上位であったと同時に無回答も多かった。対象者の8割は被災経験が無く、災害への低関心、想像力の不足も懸念された。

②土屋瑠見子\*, 太田智之, 鈴木洋介, 木下輝, 楠本直紀, 永井美寿々, 田島美紀。「転倒リスク評価指標The Home Falls and Accidents Screening Tool (HOME FAST) 日本語版の妥当性の検証」

【発表要旨】複数の国で活用されている転倒リスク評価指標The Home Falls and Accidents Screening Tool (HOME FAST) の日本語版を作成し、表面妥当性および内容妥当性を検証し、一定の妥当性が担保された。

③島田今日子, 安順姫\*, 鈴木剛, 村井祐一「地域在住の孤立した高齢夫婦の生活実態」(優秀ポスター賞受賞)

## 第34回日本健康医学会総会(2025/11/8:山口)

佐々木晶世\*, 土屋瑠見子\*, 石橋智昭\*「科学的介護情報システム(LIFE)のフィードバックにおけるインターライ方式の介護の質指標(QI)の活用」

【発表要旨】科学的介護情報システムの事業所フィードバック項目で不足している視点を既存の質指標と比較し、インターライQIで代替可能な指標を抽出して今後の活用への示唆を得た。

## ◆ Dia Information ◆

### GSA 2025 Annual Scientific Meeting(2025/11/12-15:Boston)

①Rumiko Tsuchiya-Ito\*, Satomi Kitamura, Reina Taguchi, Shota Hamada. Annual Medical and Long-Term Care Expenditures Three Years After Home Adaptations for Older Adults With Care Needs.

【発表要旨】医療・介護レセプトを用い、住宅改修サービスの実施が3年後の医療費・介護費に与える影響を検討した。その結果、住宅改修の利用者の一部において医療費・介護費が少ないことが示された。

②Satomi Kitamura, Tomoyuki Ota, Rumiko Tsuchiya-Ito\*. Characteristics of Housing Adaptation Recipients Under Japan's Long-Term Care Insurance: A Cluster Analysis.

③Reina Taguchi, Akira Okada, Rumiko Tsuchiya-Ito\*, Satomi Kitamura, Tomoki Ishikawa, Shota Hamada. Continuity of Visiting Pharmacist Services for Older Adults With and Without Terminal Cancer in Japan.

### 第45回日本看護科学学会学術集会(2025/12/6-7:新潟)

佐々木晶世\*, 二宮彩子\*\*, 廣岡佳代\*\*, 五十嵐歩\*\*, 小野恵子\*\*, 金田明子\*\* 「使ってみよう!高齢者施設や在宅で活用できる看取りケアのためのアセスメント」

【発表要旨】看取りケアのためのアセスメントの使用方法を解説したのち、模擬事例を使ってその利用者に対応すべき課題であるCAPを実際に選定し、多職種連携などへの活用方法について意見交換を行った。

### 論文発表

(\*は財団研究員; \*\*は客員研究員)

①石橋智昭\*, 森下久美\*\*, 土屋瑠見子\*, 上原桃美\*, 渡辺修一郎\*\*. シルバー人材センター就労会員と地域高齢者における2年間のフレイル発生割合; 全国50地点の75~84歳を対象としたコホート研究. 日本健康医学会雑誌34巻3号, 2025.

②Hamada S, Tsuchiya-Ito R\*, Liau SJ, Hattori Y, Bell S, Sakata N. Frailty assessed using the FRAIL-NH scale and its associations with long-term care needs in residents of Japanese nursing homes: a multicenter cross-sectional study. JMA

Journal 9 (1) : 246-253, 2026.

③Kitamura S, Tsuchiya-Ito R\*, Taguchi R, Ishikawa T, Ota T, Hamada S. Assistive products for long-term care among older people with chronic obstructive pulmonary disease in Japan: A retrospective cohort study. BMC Geriatr 25, 621, 2025.

④Nishida K, Taguchi R, Tsuchiya-Ito R\*, Ishikawa T, Kitamura S, Iwagami M, Hattori S, Hamada S. Association of long-term care risk with nonresponse to the annual frailty screening program in older adults in Japan: A retrospective cohort study. JMA Journal 8(4):1184-1191, 2025.

### 講演など

#### 石橋智昭:

- ①(公財)横浜市シルバー人材センター設立45周年記念式典において招待講演「高齢期の就業と健康維持効果」を講演(10/16、於:県民共済みらいホール1F)
- ②新潟県シルバー人材センター連合会 令和7年度役職員研修会にて「シルバー事業に役立つ“老年学”のすすめ②」を講演(10/23、オンライン)
- ③東邦大学大学院看護学研究科にて「健康政策特論」を講義(11/17-1/26、計7回)
- ④全国シルバー人材センター事業協会主催の経営力向上研修にて「経営的な視点から見る会員の健康管理」を講演(12/16、於:コングレスクエア日本橋)

#### 佐々木晶世:

- ①横浜市立大学大学院医学研究科看護学専攻老年看護学特講Ⅱにて「高齢者の心理・社会面を支援する看護に必要な理論」を講義(11/17)
- ②横浜市立大学医学部看護学科1年「公衆衛生学」の講義を担当(12/15)
- ③千葉県立野田看護専門学校第二看護学科1年「地域包括ケア演習」の講義を担当(12/23)

#### 土屋瑠見子:

神奈川県立保健福祉大学大学院ヘルスイノベーション研究科にて「Aging and Health」を講義(12/9)

#### 森義博:

我孫子北まちづくり協議会で「超少子・長寿社会に生きる一お金、介護、少し気になる丙午」を講演(11/9、於:我孫子北近隣センター並木本館)

## ◆ Dia Information ◆

### 寄稿・取材記事ほか

#### 石橋智昭：

- ①『月刊シルバー人材センター』11月号にジェロントロジー入門講座(5)「働く高齢者の現状とセンターの魅力」を寄稿
- ②茨城県シルバー人材センター連合会会報『県シ連だより』令和8年1月号に特集「生きがい就業の介護予防効果について」が掲載

#### 森義博：

- ①(株)セールス手帖社保険FPS研究所「LA情報」：「ライフプランで想定する『寿命』とは(10月)、就労者にとっての介護 —【1】親の介護は身近(11月)、就労者にとっての介護 —【2】親を介護すること(12月)、『2,000万円問題』の現在地

と老後資金(1月)」

- ②(株)セールス手帖社保険FPS研究所「注目のトピックス」：「何歳まで生きると考えるか—2024年簡易生命表から(2)(10月)、いつでも直面しうる親の介護(11月)、就労者にとっての介護(12月)、就労者にとっての介護(続編)(1月)」

### その他

#### 【高齢者向けエアロビック(ダイヤビック)】

- ①ダイヤビック誕生25周年を記念して、ダイヤビック25周年記念式典を開催しました(11/28、於：三菱養和会巣鴨スポーツセンター会議室)。
- ②2025年度インストラクター養成講座の認定試験合格者6名に「認定書」を授与しました(11/28)。



発行者 公益財団法人 **ダイヤ高齢社会研究財団**  
〒160-0022  
東京都新宿区新宿1-34-5 VERDE VISTA 新宿御苑3F  
TEL：03-5919-1631 FAX：03-5919-1641  
E-mail：info@dia.or.jp https://dia.or.jp

編集人 先瀬 信成

製作 芝ワーク (三菱製紙ホワイトニューVマット)

発行 2026.2.25 / No.118